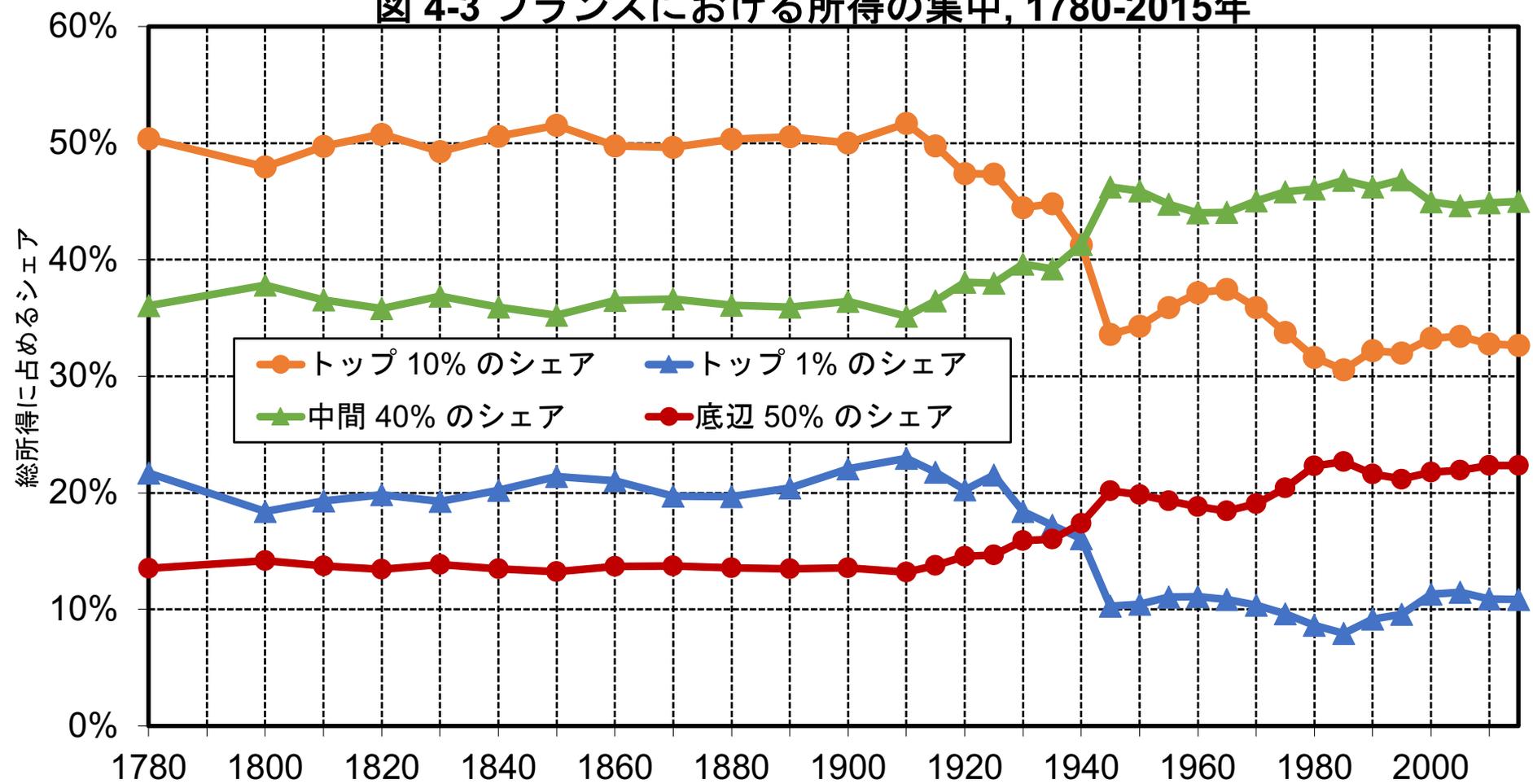


図 4-3 フランスにおける所得の集中, 1780-2015年



解説. 所得トップ 10% が総所得 (賃料、配当、利子、利潤などの資本所得と、賃金、自営収入、年金、失業手当などの労働所得を含む) に占めるシェアは、1780年代から1910年代にかけてフランスでは 50% ほどだった。所得集中の低下は第一次世界大戦後に始まり、その恩恵を受けたのは「下流階級」(所得の底辺 50%) と「中流階級」(その上の40%) で、損をしたのは「上流階級」(トップ 10%) だった。

出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology 参照.